ripheral and bisexual flowers in var. *sinensis* are slightly small in size. But in var. *sinensis* petioles are not significantly longer than var. *arguta*.

Specimen examined. China. Fujian Province. Wuyishan City, Langu Town, Lingyang alt. 420–500 m (M.Mikage, A.Takahashi, T.Katsuyama and Q.Sun 622633, Jun. 29, 1998, TUS)

(Kanagawa Prefectural Museum of Natural History, Odawara, Kanagawa 250-0031
神奈川県立生命の星・地球博物館)

新 刊

□山岸高旺(編著):**淡水藻類入門—淡水藻類の形質・種類・観察と研究—** 646pp. 1999. 内田老鶴圃. ¥25,000 +税.

淡水藻類の大要を会得したい人々のために書かれた本で，藻類がどのような性質をもち，どのような場所に生育しているか，淡水藻を採集し，そして観察するにはどうしたらよいか，さらに進んで淡水藻類を研究するにはどのような方法があるか，などが初心者にわかりやすく記述されている．

本書はI－III部からなる．I部は「淡水藻類の形質」で，淡水藻類の定義，細胞，体制，生殖と生活史，分布と伝播，分類(分類形質・分類系・進化と系統・種類数・12分類群（綱)の特徴)などが簡潔に記述される．II部は「淡水藻類の種類」で，12分類群（綱）(藍藻類・紅藻類・黄色鞭毛藻類・黄緑色藻類・珪藻類・褐色鞭毛藻類・渦鞭毛藻類・緑色鞭毛藻類・褐藻類・緑虫藻類・車軸藻類)について，類(綱)の特徴，代表的な目・科・属の検索と解説（ときに代表的な種を含む）が多くの図を伴って記述される．ここでは灰青藻類も付記として扱われる．III部の「淡水藻類の観察と研究」はこの書の特徴的な章で，淡水藻についてどのような方法で実験・観察・研究を進めればよいか，そして結果を整理し，まとめるにはどのようにしたらよいか，などがその道の専門家15名により解説される．項目と執筆者は次のようである．1 淡水藻類の採集と観察（山岸高旺)，2 淡水藻類の観察と研究分野（同)，3 ベントス性およびプランクトン性淡水藻類の観察と研究（大谷修司・神庭賢一)，4 浮遊性藍藻類の観察と研究（渡辺真之)，5 カワモズク類の観察と研究（熊野茂)，6 日本産オオイシソウ科藻類の観察と研究（中村 武)，7 フシナシミドロ類の観察と研究（山岸高旺)，8 珪藻類の観察と研究（南雲 保・長田敬五)，9 コエラストルム属の観察と研究(橋都重人)，10 サヤミドロ属の観察と研究(斎藤英三)，11 アオミドロ属の観察と研究(山岸高旺)，12 黄金藻類の観察と研究(高橋永治)、13 土壌藻類の観察と研究(中野武登)、14 湖沼プランクトンの生態学的な観察と研究(山口征矢)，15 淡水藻類の変異性の観察と研究(山岸高旺)，16 ツヅミモ類の変異性の観察と研究（金鋼善恭)，17 ツヅミモ類の培養と接合の観察と研究(市村輝宣)，18 糸状藻類の細胞分裂と染色体の観察と研究(原田 彰)，19 顕微鏡写真の撮影方法(中野武登)，20 学名と種の記載・同定，参考文献（山岸高旺)．各項目の内容は執筆者により力点が多少異なるが，図や写真の挿入が多く，初心者のみならず，専門家がさらに研究を進める際の良い指針ともなっている．巻末には述語の解説と索引，学名索引，属名・仮名読み・和名対象索引，属・目・科索引が付される．

(千原光雄)

□ Trainor F.R.: **Biological aspect of *Scenedesmus* (Chlorophyceae)–phenotypic plasticity** 367 pp. 1998. Nova Hedwigia Beiheft **117**. J. Cramer, Berlin. DM120.00.

本書の研究対象の *Scenedesmus*（イカダモ属）は和名が示すように，通常4個の細胞が側面で接着する定数群体の淡水産緑藻で，無性的に自生群体 (autocolony) をつくって繁殖する．はげしい可塑性を示す性質があり，同一株でありながら成育の時期，場所，あるいは培養条件により，形態が著しく変化する．著者のTrainor博士は1960年代の初期より一貫して *Scenedesmus* の可塑性について研究を進めてきた学者で，コネチカット大学の彼の研究室に学んだ大学院生の多くもこの課題に